

▶その他の児童福祉施設

●木野保育所

平成19年4月から休園の木野保育所は、老朽化が激しく設備も現在の保育に必要な基準を満たしていません。保育所の再開には施設の建替えが必要ですが、財政負担の面から困難であり、廃園する方向で検討します。

→平成31年4月1日をもって廃園しました。

●阿多田児童館

小学生の利用のほか、阿多田島に住む子どもたちのための保育所的機能も備えた施設ですが、実際には小学生の利用ニーズが無いことから、児童館としての機能を廃止し、保育施設への転換を検討します。

→平成31年4月1日から、認可外保育施設「阿多田保育園」として運営しています。

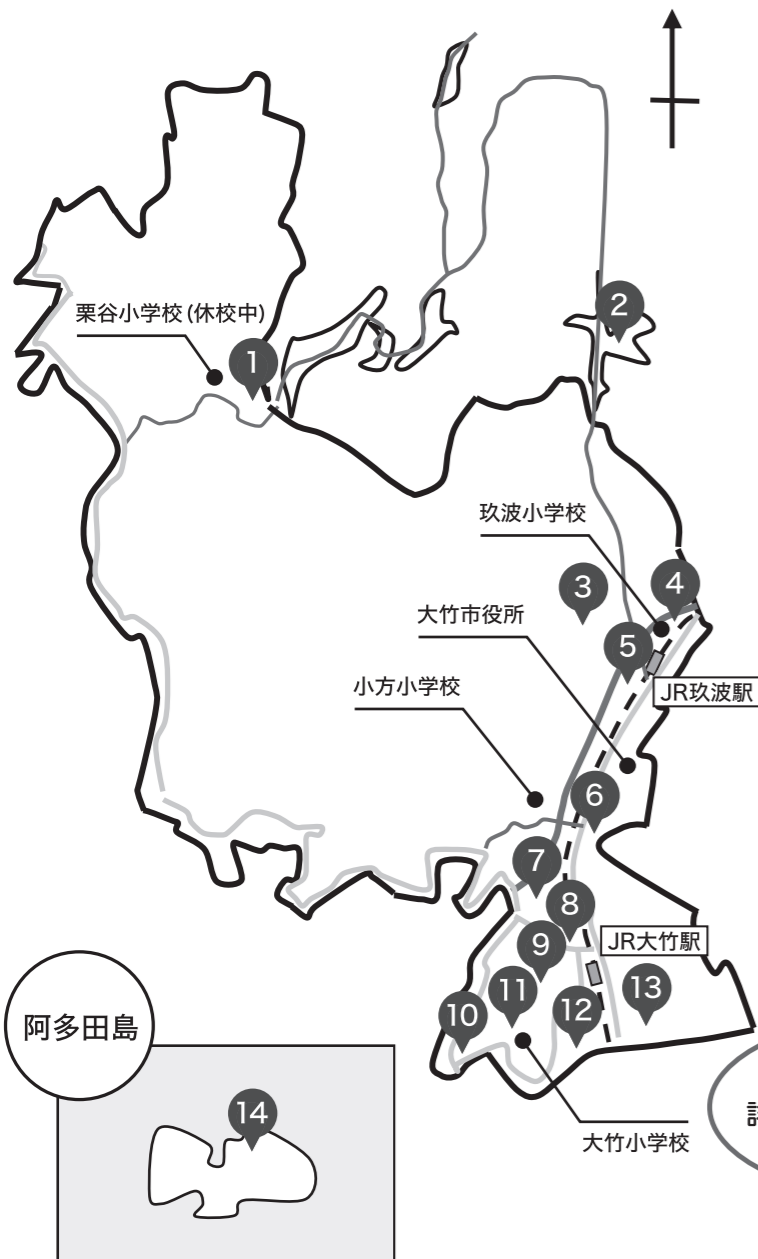
●栗谷児童館

利用児童がいなくなったことから、平成21年9月から休止しています。今後も利用の見込みがないことから、建物と土地の活用法を地域住民の方々と協議しながら、施設の活用方法を決定します。

●松ヶ原こども館

●さかえ子育て支援センター
今後も事業を継続します。

▶保育所などの配置図



- ① 栗谷児童館（休止中）
※施設活用を検討中
- ② 松ヶ原こども館
- ③ 玖波保育所
- ④ 知恩保育園
- ⑤ なかはま保育所（統合移転施設）

統合移転

- ⑥（新）小方保育所または、認定こども園
（新）子育て支援センター

- ⑦ 立戸保育所（統合移転施設）
- ⑧ こども相談室
※どんぐりHOUSEは小方地区に移転
- ⑨ 大竹中央幼稚園
- ⑩ 木野保育所【廃園】

再編

- ⑪ 大竹保育所
- ⑫ 本町保育所
【パターン1】統合▶▶▶（新）大竹保育所（公立または私立）
【パターン2】大竹保育所（公立） / （新）本町保育所（私立）
【パターン3】（新）大竹保育所（私立） / （新）本町保育所（私立）

- ⑬ ひまわりさかえこども園
さかえ子育て支援センター
- ⑭ 阿多田保育園【児童館から転換】

こんなふうになるんだね。
詳しくは、市ホームページを見てね。

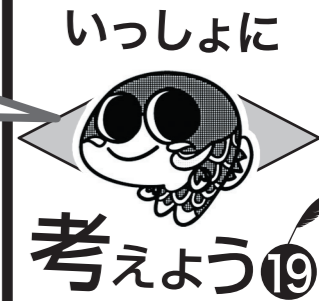


～「子育てしてみたいまち おおたけ」を目指して～
『大竹市公立保育所等再編基本方針』②

「大竹市公立保育所等再編基本方針」は、各公立保育所や子育て支援センター、児童館などの施設整備の方法、時期、施設の規模など具体的な整備の方向性を定めたものです。（平成30年12月策定）

この方針に基づき施設の再編・整備を進めています。

前月号では、施設の再編・整備の基本方針を見てきました。今月号では、コイちゃんと一緒に各施設の具体的な再編・整備内容を見てみましょう。



公共施設マネジメント

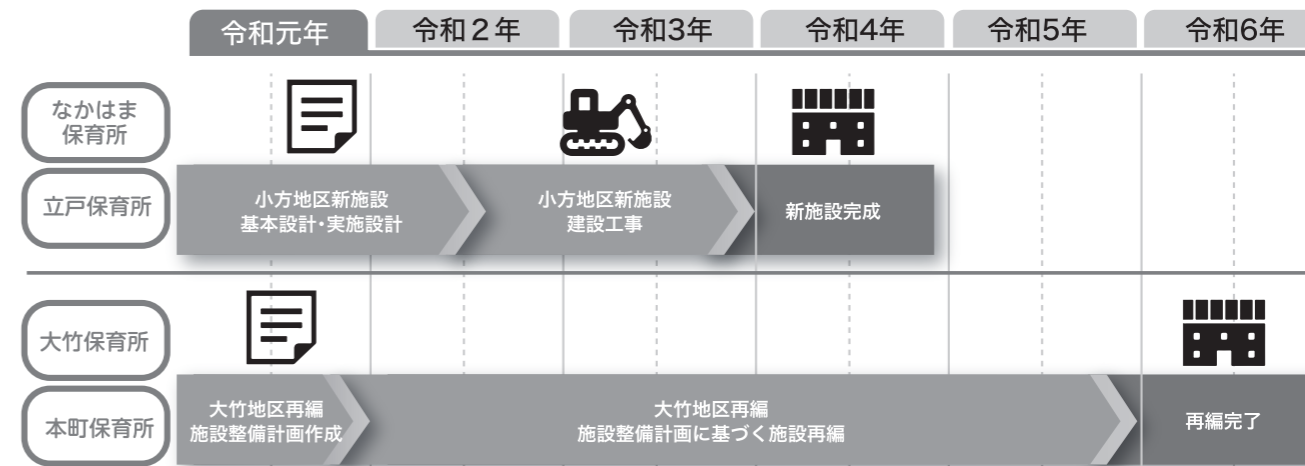
問い合わせ
福祉課 ☎92148
企画財政課 ☎92125

▶公立保育所（なかはま保育所、立戸保育所、大竹保育所、本町保育所）

なかはま保育所と立戸保育所は統合移転します。総合的な子育て支援の充実のため、関係機関などとの連絡調整がしやすい市役所敷地内に移転します。統合した新施設では、立戸保育所で行っている一時預かり事業を実施するほか、土曜日の開所時間の拡大や延長保育事業などの実施を検討します。3歳以上の児童の保護者の就労状況の変化によって、施設を退所しなくてもいいように認定こども園化も検討します。

大竹保育所と本町保育所の再編の方法は、「2施設を統合」、「いずれかを民営化または2施設とも民営化」など複数の方向性が、考えられます。施設の数や位置、保育サービスの内容など、今後の保育需要や国の動向、民間法人の動向などを踏まえて決定していきます。

●公立保育所再編スケジュール



▶子育て支援センター
どんぐりHOUSE

なかはま保育所と立戸保育所を統合移転した新施設内に移転します。主に就学前から小学校低学年の児童を対象にした遊びの場などを備えるほか、母子保健事業の実施にも活用できる設備を整えるなど、施設の多機能化を検討します。

なかはま保育所と立戸保育所から取り掛かって、どんぐりHOUSEも一緒になるんだね。



“おたけ”PRキャラクター
コイちゃん